

最近の完成工事から

南加賀道路 細坪町から曾宇町間の開通

～南加賀地域の振興と活性化に向けて～

石川県南加賀土木総合事務所

1 はじめに

南加賀道路は、小松空港及び北陸自動車道小松インターチェンジから加賀温泉郷を経て加賀インターチェンジに至る本線ルート27.9kmと、本線ルートより分岐する粟津ルート4.7kmより構成され、南加賀地域の振興と活性化に大きな役割を果たす極めて重要な幹線道路であり、本県の「ダブルラダー輝きの美知(みち)」構想の南北幹線にも位置付けられています。(図-1)

このうち、加賀インターチェンジと山代温泉を結ぶ区間である熊坂町から河南町間については、平成5年度より事業着手し、平成21年には日谷荒木トンネルと河南トンネルを含む曾宇町から河南町間2.6kmが開通したほか、平成26年には隣接する河南町から山代温泉までの加賀市施工区間0.6kmが開通しています。

引き続き、熊坂町から曾宇町間2.4kmについて、鋭意整備を進めてきた結果、平成29年3月12日に細坪町から曾宇町間の1.4kmが開通しました。(図-2)



図-1 南加賀道路全体計画図

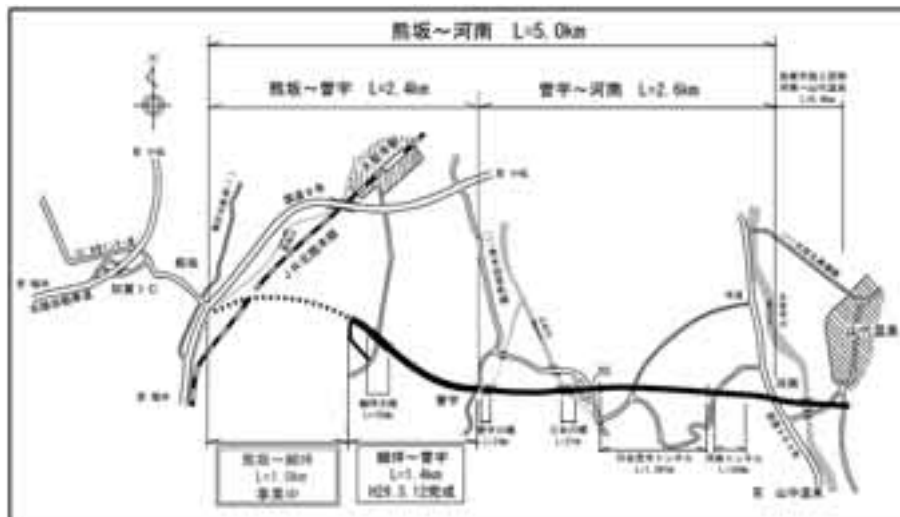


図-2 熊坂町～河南町間の整備状況

2 事業概要

路線名：南加賀道路（一般県道荒木田原町線）

事業箇所：加賀市熊坂町～河南町地内

延長：L=5.0km（うち1.4kmが今回開通）

道路区分：第3種第2級

幅員：W=6.5m（9.5m）（今回開通区間）

主要構造物：細坪大橋（L=150m）（写真-1）



写真-1 細坪大橋

3 事業の効果

南加賀道路の全線の開通により、以下の整備効果が期待されます。

南加賀地域の連携強化

北陸自動車道や小松空港と連結し、地域間の連携強化が図られ、人・ものの交流の拡大に大きく寄与します。

南加賀地域の活性化や観光振興

北陸自動車道加賀インターチェンジから山代温泉や山中温泉へのアクセス性が向上し、地域の活性化や観光振興に大きく寄与します。

安全・安心の確保

自然災害や事故、大雪等の緊急時における国道8号の代替ルートになります。

4 事業の特徴

ICT 建設機械の活用

石川県では、全国で初めて、自動制御によるICT油圧ショベルを公共事業に導入することとし、ICT施工によるモデル工事を、南加賀道路の現場で実施しました。

今回のモデル工事では、従来の施工に比べて、1日当たりの施工量が2割向上することが確認されたほか、建設機械周辺での作業が軽減され、作業員と建設機械の接触の危険性が減少するなど、安全性の向上を確認しています。(図-3)

切土法面对策

曾宇町地内の切土工事において、clay seamが確認され、切土直後から押し出し変状があったことから、法面对策工事を実施しています。対策にあたっては、頭部排土により必要な抑止力を減じ、さらに不足する抑止力については、グラウンドアンカーにより対策を実施しています。(写真-2)

clay seam：薄い粘土の挟み層

5 おわりに

平成29年3月12日、知事、加賀市長など、多数の関係者の列席のもと、開通式が執り行われました。

今回の細坪町～曾宇町間の開通により、加賀インターチェンジから山代温泉や山中温泉へのアクセスが向上するなど、南加賀地域の発展に大きく寄与するものと考えています。今後は、残る熊坂町～細坪町間の早期供用に向けて、全力で取り組んでまいります。

最後になりますが、本道路の整備に多大なるご尽力をいただいた関係各位にこの場をお借りして感謝申し上げます。

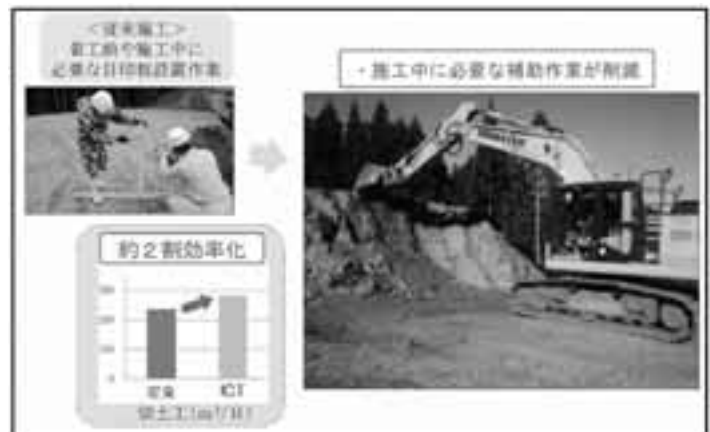


図-3 ICT施工による効果



写真-2 グラウンドアンカーによる法面对策



写真-3 完成した細坪町～曾宇町間

平成28年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.3

施工企業名：加賀建設株式会社

工事名 金沢港 改修（統合補助）工事
（防舷材設置）

工事分野 港湾漁港工事

施工場所 金沢市五郎島町 地内ほか

工事概要

五郎島岸壁（-9m）

防舷材取付（V型H600×L1000） N=1基

防舷材取付（ゴム製梯子 H200×L1800） N=1基

御供田岸壁（10m）

防舷材取付（V型H500×L2000） N=2基

工期 平成28年1月21日～平成28年3月25日

推薦理由

本工事は、貨物船が利用している中での工事を円滑に進めるために、船舶の利用状況を独自に調査し、ふ頭利用者と綿密な調整を行った結果、就業時間に制約があるにもかかわらず、苦情もなく工事を完成させたほか、現場状況に合わせた作業用足場を製作し、安全な作業環境の確保に努めた。



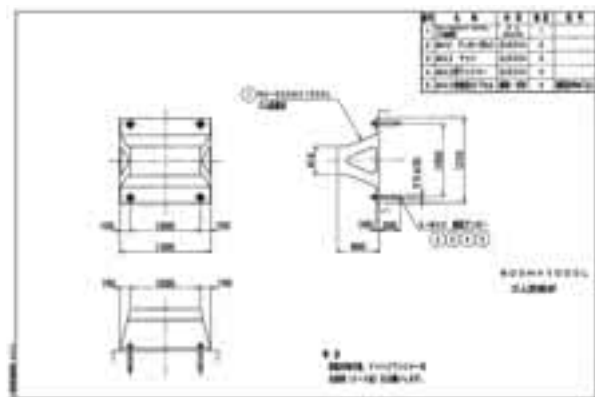
完成1



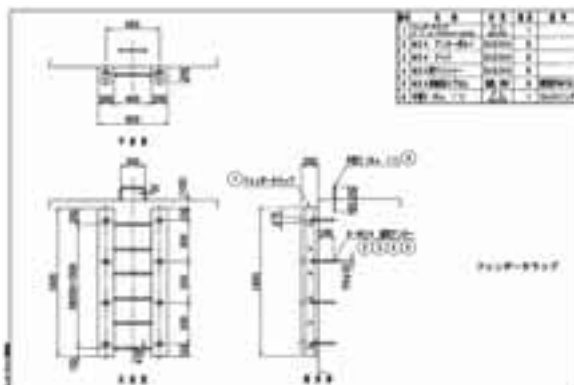
完成2



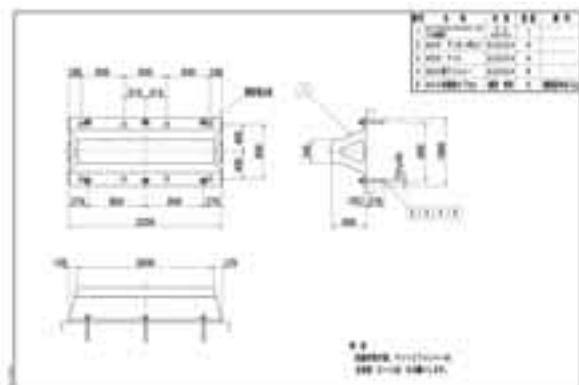
位置図



五郎島防舷材詳細図



五郎島タラップ 詳細図



御供田防舷材詳細図



滑止付胴長靴



施工状況1



施工状況2



超大型緩衝材



吊足場製作

現場代理人のコメント

現場代理人
山崎久孝氏

この度は知事表彰を頂き、私自身大変嬉しく感謝しております。

受賞に際して、工事監督・指導を頂いた石川県金沢港湾事務所の監督員様を始め、株式会社金沢港運の方々、関係官庁・関係者各位に紙面をお借りして深く御礼申し上げます。

施工は金沢港内の大型コンテナ船や貨物船の離接岸が最も過密な御供田・五郎島岸壁にて行う工事で、大型船舶の入出港の間隙を利用した時間制約された中で行なわれました。

作業に際しては航跡波や港内潮位の影響を大きく受ける為、作業員の安全に配慮した滑り止め付胴長靴の使用や既設車止めを利用した吊足場を立案し、安全且つ円滑な作業に努めました。他に工夫点としては損傷のある既設防舷材撤去期間中の養生材の防舷材同等の超大型緩衝材設置や、船舶接岸管理を司る代理店との綿密な作業打合せを行い、品質管理や日程管理を特に配慮しました。

当社に入社して30年近くこの金沢港や周辺の工事に携わって参りましたが、港湾施設にも老朽化の波が押し寄せる中、近年では重建設機械の輸出やクルーズ船の寄港としての国際観光拠点港の位置付けもあり、船舶の往来が止む事はありません。

今後もこの経験を生かし、港湾整備作業に携わり、金沢港の安全・活性化の一助として貢献したいと思います。

雇用改善コーナー

工業系高校生等の富士教育訓練センター派遣レポートについて

雇用対策特別委員会（委員長 岡 昌弘）は、若手建設労働者の育成事業の一環として、建設業界に就職が内定している県内の高校生等を対象とした富士教育派遣センターへの派遣事業を実施した。

本年度事業は昨年度同様に、従来の「小型移動式クレーン」「玉掛け」の資格取得に加え、東日本保証株式会社の御協力により「就職前準備研修」2日間を加え、2月11日（土）より18日（土）までの7泊8日にかけて実施しました。

受講者にとっては、慣れない環境で長期間の研修となりましたが、資格取得と同時に、社会人としての心構えも学習し、貴重な時間となりました。

以下は、厳寒の富士教育センターでの研修体験を綴った受講者のレポートの抜粋です。



入職予定企業（株）江口組

石川県立小松工業高校 中野初音

今回の講義できちんとした挨拶を学び、職場でも実行したいと思いました。朝からの講義でも挨拶を大きな声ではっきりとすることで、眠気も消えてスッキリとしたスタートがきれえました。挨拶の効果は絶大です。そして、自分で考えて自分から行動できる社員になります。まだはっきりとは自分にできることはわからないけど、とにかく元気に現場を明るくしたいです。

入職予定企業 宏州建設（株）

金沢市立工業高校 高橋 滉

私は基本的にはマイナス思考なのですが、今回の講義を聞いて、自分には可能性がたくさんあるのかなと思いました。また、自分の意見を言うことの大切さに気付きました。私の内定した企業は総合建設業なので、覚えることがたくさんです。見よう見まねでいいので、吸収していきたいです。

入職予定企業 太陽工業（株）

私立小松大谷高校 松村拓真

私は一般の高校からきたから工業高校の生徒よりも人一倍頑張らなければいけないと気付きました。ただ、なんの技術もないまま入社するので、本当についていけるのか、また、人間関係なども心配です。でも、礼儀などをしっかりして会社の人に期待してもらえるように頑張りたいです。



入職予定企業（株）向出組

石川県立小松工業高校 玉田 大

この研修を通じて、自分の良い所・悪い所を見つけることができました。講義中に少し居眠りや、メモ

を取り忘れることをしてしまったことがありましたが、これは社会に出てから絶対にやってはいけないことなので、今のうちに直さなければいけないと思いました。春から社会に出て、恥をかかないように良い点はどんどん伸ばし、悪い点は直したいと思います。また、1級土木施工管理技士の取得に向けて勉強も頑張りたいです。

入職予定企業 北陸エースコン(株)

石川県立津幡高校 大島 悠

この研修は、これから入社するまでに取っておかないといけない資格をとるためだと思っています。また研修を通じて、社会人として様々なことを学べて良かったですし、自分のダメなところを入社までに直していきたいと思いました。

入職予定企業 (株)吉光組

石川県立小松工業高校 西出 輝

1日目の最初はめんどくさいと思っていましたが、隣の人と会話する時間が多くなっていくにつれて、とても楽しかったです。今回の講習で大切なことは、責任感・協調性・規則を守る・原価意識を持つ・人間関係・生活の自己管理だと教えてもらい、会社に入るまでにできるだけできるようにしておきたいと思います。まずは、当たり前のことを当たり前に行えるようになりたいと思います。



入職予定企業 高田産業(株)

金沢市立工業高校 高 瑞樹

まだまだ自分は学生気分が抜けていないと思います。今から社会人なのだという自覚を持って毎日をごろごろしていかないといけないと思いました。研修では、学校では教えてくれないようなことや社会人にとって必要なことを、とても深いところまで丁寧に教えていただくことができ、とても貴重な経験になりました。入社して、社員の方々に信頼されるように毎日たくさんのことを学び、吸収して、会社に必要とされるようになっていきたいです。

金沢市立工業高校生の現場見学会の実施

雇用対策特別委員会(委員長 岡 昌弘)は3月16日(木)金沢市立工業高校の要望に基づき同校建築科2年生35名を対象に県立中央病院建設現場において現場見学会を実施した。

始めに、現場事務所で中央病院建設推進室の北川 睦課長補佐より建設中の県立中央病院の沿革や施設、開院時期等の説明を受け、続いて建設現場へ移動し、大成建設(株)・みづほ工業(株)の現場所長より、現在の進捗状況や耐震設備等について詳しい説明が行われ、生徒たちは皆、真剣な表情で見学を行った。



石川県立翠星高等学校生徒との意見交換会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 吉光武志)は(一社)白山・石川建設業協会(会長 北野一郎)と合同で3月10日(金)に翠星高校を訪問し、環境土木コースの2年生15名と意見交換会を行った。同校との意見交換会は、(一社)白山・石川建設業協会の青年委員を中心とし、去年に引き続き2回目の開催となった。

冒頭、同校の山崎 恵校長が「今日の意見交換会を通じて建設業の魅力をお聞きして、今後の学習を充実させて欲しい。」と挨拶。続いて(一社)白山・石川建設業協会の北野会長から「建設業界も幅広い業種ですが、青年委員との意見交換会を通して、地元で働きたいと思ってもらえればと思います。」と挨拶し開会した。

この後、建設業を紹介する「未来を創りふるさとを守る建設産業」のDVDを鑑賞した後、青年委員より以下の内容でプレゼンテーションが行われた。

- ・現場監督の1日((株)ヨネミツ 山本 岳)
- ・会社に入ってからライフサイクル((株)北野組 北野大輔)
- ・先端技術機械の紹介((株)共和建設 若島 聡)

休憩を挟んだ後、生徒5名、青年委員2名ずつの計7名が1つのグループとなり、合計3グループに分かれて意見交換を行った。生徒からは、「給料について」「休日について」「現場の環境について」「仕事の内容について」「女性の監督について」などの質問が活発に出るなど終始賑やかに意見を交換した。

最後に参加生徒1人1人より今日の意見交換を通して感じたことを発表し、「やりがいがありそう。」「将来の自分の進路選択の参考になった。」「建設業に興味もてた。」などの感想が述べられ閉会となった。



不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度
自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20

中屋三井ビル2F

地区協会コーナー

～ 「柴山潟の魅力」 自然と観光スポット ～

(一社)加賀建設業協会

柴山潟は、昭和27年度～44年度にかけて行われた国営干拓建設事業により、当時の40%ほどの面積になりました。この時に築かれたのが現在潟の東側を南北に走る延長1,300mの締切堤防で、春になると堤防沿いに植えられた100本あまりのソメイヨシノが咲き誇り、訪れる人々を楽しませてくれます。



この堤防は遊歩道としても利用されており、散策しながら柴山潟を眺望できるだけでなく、体を反転させれば、潟の東側一帯に広がる広大な干拓水田を見渡すことができます。その景色は、春の田植え期には雄大な白山が水面に映り、夏には稲が緑の絨毯のように風にそよぎ、秋の収穫期には稲穂が黄金色に輝くなど、四季の移り変わりを感じさせてくれます。

さらに冬には、水が吐けにくい干拓水田の特徴により、雪が降ってもあまり積もらず冬鳥の恰好のエサ場となっており、夜間はカモが、日中はコハクチョウが多数舞い降りてきています。

中でもコハクチョウは年々その数を増やし、今シーズンも1,000羽をはるかに超える数が確認されており、愛鳥家たちを喜ばせています。



柴山潟西北の手塚山公園内にある「首洗池」は史跡として有名です。この池は、寿永2年(1183年)の源平争乱の舞台となった篠原古戦場近くに位置しています。

源氏の本曾義仲軍と平家の斎藤別当実盛軍が戦い、討ち取られた実盛の首をこの池で洗ってみると、染めていた黒髪が白髪に変わり、その昔、義仲の命を助けた実盛の首と分かり、義仲が実盛の死を深く哀れんだと伝えられています。

加賀市では、新年度から柴山潟周辺の遊歩道整備や、「首洗池」のある手塚山公園の歩道整備に着手する予定であり、地域住民参加型のワークショップの開催も計画されています。

柴山潟周辺の遊歩道や「首洗池」と言った観光スポットの整備については、かねてより当協会も市に提言してきたところであり、これらに磨きがかかれることで、観光客の更なる増加が期待されます。

会員リレーコーナー

162 株式会社和泉建設

(所在地：金沢市上荒屋3丁目25番地8)



社 章

当社は、小松市大杉町にて祖父が、昭和25年より営んでいた製材業を起源としています。その後、昭和46年3月に先代である父が、高度経済成長期中、需要拡大の波に乗るべく祖父と共に金沢に拠点を移し「和泉木材産業株式会社」を設立しました。昭和50年8月には社名を「株式会社和泉建設」に改め、現在に至っております。

私の幼少期は、大杉町の山を駆け回り、移り住んでからも加工場のおがくずにまみれて遊んでいました。今でも現場にて木材の香りに触れると、とても懐かしく当時を思い出します。

当社の「社章」は、現在の社名に改めた際に「時代変われど初心忘れるべからず」と、製材業のときより肌身放さなかった、さし金をモチーフにデザインされたと聞いています。この社章を背広に付けると、さし金を片手に様々な苦労や努力の上に、コツコツと信用・信頼を築き上げて下さった祖父や父をはじめとした多くの先人方に対し、尊

【理念】

誠意・真心をモットーに
高い技術力とサービスを提供する



社 屋

敬と感謝の気持ちを持つと同時に、次世代への継承という責務を感じ、身が引き締まります。

現在、建設業においては高齢化による技術継承危機・人材不足等、さまざまな問題を抱えております。当社でも例外ではありませんが、時代の変化という流れの中でも、変えてはいけない物、変えなければいけない物をしっかりと見極め、何事にも意味があると前向きに捉えながら、私も行動していきたい思います。

当社は創業以来、様々なニーズや住環境が変化する中、当社理念の「誠意・真心をモットーに高い技術力とサービスを提供する」にもあるように「誠意・真心」を第一に考え、時代にあった住空間創りを目指してまいりました。

私は「信頼こそ最高の財産である」と考え、建物の完成はゴールではなく、スタートだと捉えています。そこから次世代へとつなげる信頼を積み上げる事こそ、祖父・父からバトンを引き継いだ私の使命だと考えております。

北陸新幹線も更に延長開通すれば、石川県にもまだまだ経済効果が期待され、明るい未来も予想されます。社員一丸となって地域・社会へ貢献できるよう日々精進していきたいと思っております。

最後となりますが、おかげさまで当社も創立46年目を迎えることが出来ました。皆様の多大なるお力添えに心より感謝申し上げます。

今回は興南建設(株)代表取締役 南 芳則さんにバトンをお渡ししますので、よろしく願いいたします。

(株式会社和泉建設 代表取締役 和泉康夫)

今月の「輝き！」さん

No. 25



株式会社岡組 永見陵子さん

業 種：事務職
 経験年数：3年8か月
 年 齢：32歳

金沢市泉本町の株式会社岡組の事務所に今月の輝きさんをたずねました。

- それではまずは、あなたとあなたの会社についてご紹介下さい。

私は福井県大野市で3人兄弟の末っ子として育ちました。大学を卒業後は金沢市に支店のある会社に就職しました。その後、建設業経理事務士の資格をとったので資格を生かせる仕事を探していたところ、現在の会社に事務職として採用していただき3年半が経ちました。我社は総合建設業で建築工事、土木工事、住宅事業、古民家再生事業、環境配慮建築物事業等を請負っています。私は総務部に所属し事務を担当しています。

- 総務部は女性二人だけだと聞きましたが、どんな仕事をしているのですか？

受付や電話の対応、接客など総務部としての仕事から、請求書の集計など経理の仕事もしています。受付や電話の対応は、お客様と会社をつなぐ大切な窓口だということを実感しながら、常に「明るく元気に」そして「謙虚に」をモットーに走りまわっています。社

内では中間の年齢層になるので、上司と若い社員の橋渡し役になれるようにコミュニケーションを大切にしていきたいと心がけています。

- 二人で会社の事務を切り盛りしているのですから、将来を期待されているのですか？

仕事は厳しいこともあります。今は上司を目標に少しずつ自分で工夫したり提案することもできるようになってきました。また、会社の行事などの準備を任せられたときには責任を感じますが、まわりに助けてもらいながら無事に終わったときには達成感を感じます。

- 就職先として建設会社を選んだのはなぜですか？また今の仕事をどのように感じますか？

私の実家が建設関係の仕事をしてきたことから馴染みやすかったのだと思います。

建築業は、仕事を通じ社会に必要な「住」を提供する仕事です。お客様に喜んでいただける物件を提供することは、社会や人のために役立っていると実感します。

- 独身とお聞きしましたが、普段のあなたを教えてください。

金沢へ来て友達もできました。普段はスポーツクラブへ通いヨガなどを行っています。アロマテラピーにもはまっています。また、会社が「いしかわ婚活応援企業」に認定されたので、自治体などが行う企画にも参加できたらと思います。

上司である総務課長さんから今月の輝きさんを「後継者として期待している。」と聞きました。建設現場での後継者不足が問題視される中、技術者だけでなく事務職でも後継者の育成が図られていることを知りました。



けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

協会だより

平成28年度 石川県建設生産システム合理化推進会議の開催

石川県建設産業連合会（会長 吉光武志）は、3月2日（木）金沢市の石川県建設総合センターで「平成28年度石川県建設生産システム合理化推進会議」を開催した。

この会議は、建設産業を担う総合工事業と専門工事業が、対等の協力者として負うべき役割と責任を明確化し、分業関係に対応した合理的なルールづくり等を行うことを目的としており、今回は総合工事業の立場として（一社）石川県建設業協会から副会長と各委員長等の8名が出席、専門工事業からは当連合会28傘下団体の中から19団体（19名）が出席し、喫緊の課題である「担い手の育成・確保」と「生産性向上」を主テーマに、アドバイザーの方を交えて、意見交換を行った。



会議状況

アドバイザーには北陸地方整備局や石川労働局、県商工労働部、県土木部の行政機関のほか、建設業振興基金の8名の方々に出席を頂いた。

最初に吉光建産連会長、引き続いて北陸地方整備局の岩見建政部長からの挨拶があり、その後北陸地方整備局建政部の富樫建設業適正契約推進官から「建設業における最近の話題について」、建設業振興基金の南塚経営基盤整備支援センター部長から「建設キャリアアップシステムの構築について」情報提供をいただいた。

意見交換では、情報提供を踏まえ、総合工事業と当連合会傘下団体の各専門工事業から意見が交わされ、出席者からはキャリアアップシステムに関する疑問点や外国人労働者の雇用対策（社会保険等）、担い手育成、働き方改革、建築工事に多い後工事の工期不足問題（長時間労働）、県内建産連（型枠・鉄筋団体）の4週5休の取り組み状況など、多岐にわたる意見が出され、各行政機関等のアドバイザーから助言がなされた。

平成28年度「けんせつセーフティ・ドライブコンテスト」結果

1、平成28年度の結果について

今年で17回目となる恒例の「けんせつセーフティ・ドライブコンテスト」は、本年度も昨年6月からはじまり本年2月までの9ヶ月を持って終了しました。ここ数年参加者の増加傾向が続き、本年度は参加者が昨年度よりも32名上回り、深い関心を持って取り組んでいただいておりますことに感謝申し上げます。

なお、本年度の結果ですが、チーム達成率が58.6ポイントで前年比4.2ポイントの減少また、個人達成率は89.4ポイントで前年比1.4ポイント減少する残念な結果となりました。

交通違反の傾向としてはシートベルト非着用、制限スピード超過違反、携帯電話違反、一時不停止の順位が多く、この種のルールの徹底が求められます。なお、本年度の参加状況・達成状況、交通事故・交通違反状況については次のとおりです。

参加状況・達成状況

区分 【会員数】	参加状況			達成状況			
	チーム 参加数	参加率	参加人員	チーム 達成数	チーム 達成率	個人 達成数	個人 達成率
金 沢 【88】	101 (- 1)	114.8% (- 1.2)	499 (- 5)	57	56.4% (+ 2.5)	441	88.4% (- 0.1)
加 賀 【34】	22 (± 0)	64.7% (- 2.0)	109 (± 0)	12	54.5% (- 31.9)	98	89.9% (- 7.3)
小 松 【66】	62 (- 2)	93.9% (- 1.6)	310 (- 10)	29	46.8% (- 11.0)	259	83.5% (- 5.5)
白 山 【85】	84 (+ 4)	98.8% (+ 3.6)	416 (+ 21)	59	70.2% (+ 0.2)	386	92.8% (+ 0.9)
河 北 【26】	27 (- 1)	103.8% (- 3.9)	135 (- 5)	15	55.6% (- 8.7)	120	88.9% (- 2.5)
羽 咋 【36】	81 (+ 6)	225.0% (+ 16.7)	405 (+ 30)	46	56.8% (- 0.5)	365	90.1% (+ 1.0)
七 尾 【39】	83 (+ 7)	212.8% (+ 1.7)	410 (+ 31)	44	53.0% (- 2.3)	361	88.0% (- 0.7)
鳳 輪 【56】	37 (- 1)	66.1% (+ 1.8)	185 (- 5)	29	78.4% (+ 7.3)	176	95.1% (+ 1.4)
珠 洲 【31】	48 (- 5)	154.8% (- 16.2)	240 (- 25)	29	60.4% (- 18.8)	219	91.2% (- 4.6)
県協会	3 (± 0)	-	15 (± 0)	1	33.3% (± 0)	11	73.3% (- 13.4)
合 計 【461】	548 (+ 7)	118.9% (+ 0.5)	2724 (+ 32)	321	58.6% (- 4.2)	2436	89.4% (- 1.4)

参加率の分母は地区協会の会員数
() は前年度対比数

交通事故・交通違反の状況
未達成者288名の交通事故・交通違反状況

未達成原因	件数 (前年度対比)	内 訳 (前年度対比)
交通事故	5件 (- 8)	死亡事故0件 (± 0) 重傷事故0件 (- 1) 軽傷事故5件 (± 0) 物損事故0件 (- 8)
交通違反	319件 (+ 49)	速度違反 66件 (- 2) 【内30キロ以上の速度違反6件 (- 2)】 信号無視 12件 (+ 4) 一時停止 43件 (+ 17) シートベルト 98件 (+ 18) 携帯電話 75件 (+ 16)

2、平成28年度優良地区協会

本年度の参加率及び達成率優良地区協会は次のとおりとなりました。
参加率優良地区協会・・・(一社)羽咋郡市建設業協会
達成率優良地区協会・・・(一社)鳳輪建設業協会



抽選会風景

3、達成率の年別推移

年度	達成チーム / 参加チーム	チーム 達成率	達成人員 / 参加人員	個人 達成率	備 考
24	284 / 508	55.9%	2249 / 2531	88.9%	【実施期間】 H12は3ヶ月 H13～16は6ヶ月 H17年から9か月
25	303 / 509	59.5%	2259 / 2529	89.3%	
26	295 / 523	56.4%	2298 / 2592	88.7%	
27	340 / 541	62.8%	2443 / 2692	90.8%	
28	321 / 548	58.6%	2436 / 2724	89.4%	

4、平成28年度 食事券達成30チームの抽選結果について

本年度無事故無違反を達成した321チームの中から選ばれる食事券30チームは本年3月21日(火)開催の広報・研修委員会の席で参加関係者による抽選の結果次の通り選ばれました。

組番	組番号 区分	食 事 券 獲 得 チ ー ム		
		番号	会社名	チーム名
1	1～11	7	石川建設工業(株)	モミジ
2	12～22	12	小西建設(株)	チームなんでやねん!
3	23～33	30	北川ヒューテック(株)	HIROKI
4	34～44	35	宏州建設(株)	宏州D
5	45～55	45	(株)金沢舗道	わんわん
6	56～66	62	(株)シモアラ	安全運転
7	67～77	75	加越建設(株)	K-23
8	78～87	87	中島建設(株)	中島建設Bチーム
9	88～97	90	堀川建設(株)	チームMOTOI
10	98～107	99	(有)石原建設工業	アスリートチーム
11	108～118	116	小山工業(株)	小山工業チーム
12	119～129	128	大日土建(株)	大日どぼくクラブ
13	130～140	136	(株)西山産業	nishiyama-D
14	141～151	146	(有)細川建設	細川建設
15	152～162	159	(株)表組	クランチ
16	163～173	167	(株)茶谷組	茶谷組
17	174～184	181	畑山興建(株)	HKG 役
18	185～194	194	(株)青山運送	あおちゃんず
19	195～204	201	小倉建設(株)	OGURA-Cチーム
20	205～214	212	石田工業(株)	G
21	215～225	217	羽咋郡市建設資材協同組合	がんばれ!リサイクル
22	226～236	230	(株)沢野組	沢野組4
23	237～247	241	(株)戸田組	戸田KI
24	248～258	249	丸建道路(株)	若い力
25	259～269	266	(株)里谷組	A
26	270～280	272	刀祢建設(株)	刀祢チーム
27	281～291	282	鈴平建設(株)	すずへいBチーム
28	292～301	301	(株)大樹工建	たいちゃんチーム
29	302～311	311	(株)のとさく	のとさくH28B組
30	312～321	312	(株)のとさく	のとさくH28C組

委員会の開催

土木委員会

正副委員長会議及び役員会の開催

土木委員会（委員長 竹腰勇ノ介）は、第3回役員会に提案する議題内容を審議するため、去る3月17日（金）に正副委員長会議（第5回）を石川県建設総合センター会議室において開催した。

この正副委員長会議を受けて、土木委員会は、平成28年度の活動報告・決算報告と平成29年度の活動計画・予算案を審議するために、去る3月24日（金）に第3回役員会を石川県建設総合センター会議室において開催した。会議は、竹腰委員長の挨拶のあと、下記の議題について審議され、散会した。

審議内容

平成28年度活動報告について

- ・事務局より説明が行われ、了承された。

平成28年度決算報告について

- ・事務局より説明が行われ、承認された。

平成29年度活動計画（案）について

- ・事務局より説明が行われ、了承された。

平成29年度予算（案）について

- ・事務局より説明が行われ、承認された。

最近の話題（情報提供等）について

- ・低入札価格調査基準の運用の見直しなど、最近の建設業界に係る最新話題について情報提供を行った。



正副会議



役員会

舗装部会の開催

土木委員会舗装部会（部会長 浦 良一）は、3月24日（金）金沢市内において、舗装部会を開催した。浦部会長の挨拶のあと、上・下半期のこれまで取り組んできた主な活動内容の総括と今後の活動計画について意見交換等を行い散会した。審議内容及び意見交換は以下のとおりである。

1. 平成29年度の県発注工事における制度改定について
 - ・総合評価の課題数削減・CPD 加点評価やICT 施工等などの制度改正内容について確認した。
2. 低入札価格調査基準の運用の見直しについて
 - ・直接工事費の算入率の見直し内容（変更点）を確認した。
3. 舗装部会の今後の活動計画について
 - ・活動計画について意見交換を行い、次年度は県舗装業協会と連携して要望活動を行うことを確認した。
 - ・部会については、上半期（4月～9月）、下半期（10月～3月）で各1回行うことを確認した。
4. 最近の話題（情報提供）について



・「ICT舗装」の積算基準の新設やIOT技術を活用したアス合材管理、直轄工事を対象に監督・検査方法の見直し、石川県での低入札調査基準価格改定の受け入れ動向などについて情報交換を行った。

工事点検パトロール班長会議（後期）の開催

3月30日(木)に金沢市内の会議所において、土木委員会安全対策部会(部会長 林 登良夫)の「工事点検パトロール班長会議(後期)」を開催した。会議に正副部会長及び点検パトロール各地区班長が出席し、実施したパトロールの点検結果を各班長から報告した。実施報告では、パトロール参加者(発注者、設計コンサルタント、地区協会員、県協会員)からパトロール終了後の意見交換会で出された安全管理に関することや設計施工の考え方、仮設計画の方法などについて、良かった点や指導指摘事項、改善点など、各現場での発言内容の説明がされ、その内容について意見交換がなされた。また、次年度以降のパトロール実施に向けた取り組み等について意見交換が行われ、散会しました。



なお、会議終了後、同所において意見交換会に出席された方々との懇談会を開催した。

点検パトロール箇所(県土木部所管工事)

班名	南加賀班	白山・石川班	県央班	中能登班	奥能登班	計
工事箇所	5	3	2	3	2	15
実施日	11月9日	11月8日	11月8日	11月8日	11月8日	

工事点検パトロール参加者(人)

発注者	設計者	地区協会	県協会	計
23	10	12	50	95

建築委員会

住宅部会(第3回)現場見学会の開催

住宅部会(部会長 水内健之)は、3月16日(木)、金沢市茨木町の金澤町家情報館で現場見学会を会員13名の参加で開催した。

現場では金沢市町家保全活用室長石浦裕治氏と設計監理を担当したむとう設計の武藤清秀氏から整備工事の説明を受けた。この建物は市指定保存建造物の旧川縁米穀店を修理・整備し金澤町家情報館として整備したもので、金澤町家の保全及び活用推進及び定住促進を支援するための総合情報発信拠点として平成28年11月に開館したものである。



水内部会長の挨拶後、石浦室長からは、金澤町家とは昭和25年以前に建設された木造住宅で現在旧市街地等に約5,700棟が確認されており、金沢の景観を守るうえで大事な資産であること、金澤町家再生活用事業を活用して再生された事例等の紹介があった。

武藤氏からは、この建物は藩政期の建物に何度か増築をしてきたものであり、不動沈下を直すために、どの程度まで建物の歪みを調整するか、不朽した柱下部を根継ぎしたり、格子状の耐震壁を設置することで耐震性を高めていること、建築基準法の内装制限の適用を避けるため面積を200㎡以下に抑えていることなど設計・監理の苦労話の説明を受けた。

古いものを壊すことなく街並み風情を守りつつ、現代のライフスタイルにあった住宅として再利用するための大変有意義な現場見学となり、最後に山田外志雄副部会長の挨拶で研修会を終えた。

技術部会の開催

技術部会（部会長 本田正敏）は、3月30日（木）当協会にて部員8名の参加で開催した。

本田部会長の挨拶の後、事務局より平成28年度中に完成した県発注建築大型工事（概ね1億円以上の建築工事）の「県発注工事現場 実態調査結果」と「公共建築工事 工事費実態調査」のそれぞれ8件の調査対象工事結果が報告された。

また、県の最低制限価格算定方法と総合評価方式の運用基準が改定され4月1日以降に公告される工事から適用されることも報告された。

その後、部会員による、意見交換となり、CPDの研修会を増やすことなどが話し合われた。

この調査結果を来年度当初の県担当部局との意見交換会で報告し改善を要望にすることも確認し表副部会長の挨拶で閉会となった。



土地改良委員会

委員会の開催

土地改良委員会（委員長 小柳正彦）は、3月24日（金）にANA ホリデイ・イン金沢スカイにて「土地改良委員会 全体会議」を開催した。

土地改良委員会（92会員）の全委員が一同に会する「全体会議」は、当日委員62名、県より前寺農林水産部次長ほか3名の出席の下、冒頭、小柳委員長の挨拶の後、前寺農林水産部次長の祝辞で始まり、会議の内容は次の通りです。

1 事業報告について

土地改良委員会の平成28年度の事業報告の後、平成29年度事業については、日程が決まった農林合同の総合評価セミナーを6月2日（金）に地場産業振興センターにて開催予定であり、また、秋頃に予定している現場研修会は、現在、白山市鶴来で工事が進められている、白山頭首工工事現場で手取川の川底を横断している宮竹サイフォンの補修工事などの視察を計画していると事務局より報告された。

2 県からの情報提供について

- 1) 「農業農村整備事業関係予算について」は、農業基盤課古西担当課長より、国の平成29年度予算状況や県の主要な土地改良事業での平成29年度予算の状況などについて説明された。
- 2) 「制度改正等について」は、農業政策課技術管理室角村担当課長より、総合評価方式の一部改正やため池工事で盛立に関する品質管理費用が共通仮設費に含む回数以上においては、別途計上することになったなどを説明された。

3 特別講演について

『熊本県派遣を終えて』と題して、中能登農林総合事務所竹本工事管理担当課長より、昨年4月14日に発生した熊本地震の災害復旧の応援に昨年9月から熊本県に赴任し、農業用水利施設の被災状況や災害復旧工事の支援など、派遣を通して見えてきたものについて講演された。



広報・研修委員会

委員会の開催

広報・研修委員会企画部会（委員長 高田直人）は、3月21日（火）午前11時から石川県建設総合センター401会議室において部会を開催した。

冒頭「UVA（ドローン）の現状について」と題し、五大開発株式会社佐藤裕司氏よりパワーポイントを使用し質疑応答を交えた講演が行われた。

引き続き委員会では高田委員長が挨拶を行った後、下記の通り議題の審議及び報告が行われた。

1. 協会報4月号について
事務局作成の編集計画が了承された。
2. 平成28年度「けんせつセーフティドライブコンテスト」結果について。
本年2月末で終了した標記コンテスト結果について報告がなされた他、無事故無違反達成の321チームによる抽選の結果30チームに食事券が送られることとなった。
3. 研修所からのお知らせについて
建設業税財務講習会開催結果、平成29年度新入社員研修の開催、ドローン講習会の開催について報告が行われた。
4. その他
次回の委員会の開催について意見がかわされた。



建設青年委員会

第2回建設青年委員会の開催

建設青年委員会（委員長 北川隆明）は、3月14日（火）午後3時から石川県建設総合センター401会議室にて、委員22名出席のもと全体会議を開催した。

北川委員長挨拶の後、事務局より平成28年度事業報告並びに第22回全国建設青年会議等について説明が行われた。

その後、今年度事業について意見交換会を行い各委員からは、「全国建設青年の日」活動等について活発な意見交換が行われた。

環境・情報対策特別委員会

建設廃棄物の適正処理に係る講習会の開催

環境・情報対策特別委員会（委員長 長坂知通）は、3月10日（金）に「建設廃棄物の適正処理に係る講習会」を会員企業及び建設産業連合会会員の技術者107名の参加で石川県建設総合センター7階ホールで開催した。

建設マニフェスト販売センター総務部長 戸田伊作氏の挨拶のあ



と、清水建設の白鳥栄司氏から「環境関連法体系と建設廃棄物及び排出事業者責任について」と題し環境関連法体系と建設廃棄物について、及び排出事業者責任について、オリエンタル白石の吉田長太郎氏から「建設リサイクル法及び廃棄物の委託処理について」と題し、リサイクル法の内容及び産業廃棄物を他人に委託する場合の注意点について、戸田部長より「マニフェストA票の記入演習」及び「マニフェストによる管理について」と題し、マニフェストの交付義務、流れ、記入方法等について説明を受けた。

午後4時30分までの長丁場の研修であったが参加者は最後まで熱心に受講していた。

暴力団等対策特別委員会

委員会の開催

暴力団等対策特別委員会（委員長 小野征男）は、3月7日（火）石川県建設総合センター401会議室において委員会を開催した。

冒頭小野委員長の挨拶に続き、来賓としてお招きした石川県警察本部組織犯罪対策課坂井明浩課長による挨拶が行われた。委員会は事務局より議題として「平成28年度の委員会の活動状況」について報告され、引き続き石川県警察本部組織犯罪対策課吉村 修課長補佐による「最近の暴力団情勢」と題した講演が行われた後、警察関係者との意見交換が行われ、今後とも相互に情報交換を図り連携してゆくこととし閉会した。



建設技術研修所

・建設業税財務講習会の開催

建設業税財務講習会を（一財）建設業振興基金と共催し、石川県建設総合センターで開催した。

講習会には会員企業などの経営者、経営幹部、現場代理人等52名が参加。中小企業診断士の藤原一夫氏が『建設業界で生き残るための「原価管理」能力向上の経営戦略とは』を演題に講習した。

講習会では企業の「原価管理」の取組に焦点を当てながら、いかにして企業の「差別化」を図っていくかについて具体的な話を交えて説明がされた。

アンケートではほとんどの受講者から「大変参考になった。」「今後の経営に非常に役立つと思う。」「自社の社員達にも聞かせたい話だった。」などと好評価をいただき大変有意義な講習会となった。

記

日 時 平成29年3月2日（木） 13：30～16：30
場 所 石川県建設総合センター 5階第一研修室
講 師 藤原 一夫 氏
受講人数 52名



石川県土木施工管理技士会だより

北陸3県技士会と北陸地方整備局との意見交換会の開催

石川、富山、新潟の北陸3県の土木施工管理技士会と北陸地方整備局との意見交換会が、さる3月8日(水)にアートホテル新潟駅前で開催された。北陸地方整備局の出席者は、渡辺学企画部長のほか幹部6名、技士会側は、全国連合会の小林専務理事、各県技士会会長、副会長及びそれぞれの事務局が出席した。

会議では冒頭に渡辺企画部長からは、平成28年度補正予算などの執行状況などの説明と担い手3法を踏まえた施策について言及し、「受発注者間のコミュニケーションの強化・拡充を図っていく」と述べた。ITC活用工事についても積極的に取り組む姿勢を示された。引き続いて3県技士会を代表して江口石川県技士会会長からは、「就労環境の改善や生産性向上など取り組むべき課題が山積みしており、課題解決に向けた整備局の施策に期待をしている」と述べた。その後、小林全国連合会専務理事より平成28年度の各種活動内容の説明と、12月に行われた「全国技士会連合会と国交省との意見交換会」で、改正品確法に規定されている「適正な積算や利潤の確保」について、改善が進んでいない市町村に運用指針が浸透するよう要望したことや、担い手の確保・育成の取り組みについては「処遇の改善(賃金水準の向上)」と「休暇(週休2日)の確保」などに関する改善要望を行ったことを報告された。

次に、3県技士会からの提案議題について各県の技士会会長が説明を行い、それに関する回答や質疑のあと、具体的な事項についての意見交換を行った。提案議題としては、石川県土木施工管理技士会からは「土木施工管理技士の受験資格要件の更なる緩和について」、新潟県土木施工管理技士会からは「修正設計等の期間中における監理技術者の専任義務免除について」、富山県土木施工管理技士会からは「提出書類の簡素化及び減量化について」の3議題について、活発な意見交換が行われ、散会した。



JCM セミナー (DVD 講習会) の開催

石川県土木施工管理技士会(会長 江口介一)は、3月16日(木)七尾鹿島建設業協会においてJCM セミナー (DVD 講習会)を開催した。

この講習会は、全国技士会連合会と各県技士会の共催で実施するもので、内容はDVDによる3回の講義と、講義の後の小テストで構成されている。付与されるユニット数は、講義で4ユニット、小テストの合計点はその会場の平均点以上に2ユニット、最大で6ユニット付与される。

今回は、27名の参加があり、出席者は講義、小テストに熱心に取り組んでいた。



業界時報

平成29年4月 人事異動（関係分抜粋）

（ ）は前任地

国土交通省

北陸地方整備局

職名
建政部長

氏名
牧野 浩志

前任地職名
(国土技術政策総合研究所
道路交通研究部
高速道路交通システム研究室長)

道路部長
用地部長
入札契約監査官
広報広聴対策官
適正業務管理官
地方事業評価管理官
総括防災調整官
企画部 環境調整官
企画部 技術調整管理官
企画部 技術開発調整官
企画部 事業調整官
企画部 工物品質調整官
企画部 緊急災害対策調整官
企画部 企画課長
企画部 防災課長
企画部 技術管理課長
建政部 建設産業調整官
建政部 建設業適正契約推進官
建政部 計画・建設産業課長
建政部 都市・住宅整備課長

岩見 吉輝
神林 浩
桑原 晃一
佐々木清一
近藤 秀児
倉重 毅
川村 雅一
黒田 勇一
鈴木 和弘
山岸 達也
渡邊 昌彦
吉越 政浩
浅井 誠二
藤木 裕二
見田 弘幸
松永 和彦
秋山 勉
辺見 和美
愛内 友治
窪田 悦郎

(建政部長)
(水管理・国土保全局 総務課 河川企画調整官)
(阿賀野川河川事務所 副所長)
(富山河川国道事務所 副所長)
(総務部 予算調整官)
(企画部 技術調整管理官)
(国営越後丘陵公園事務所長)
(利賀ダム工事事務所長)
(企画部 技術開発調整官)
(総括防災調整官)
(企画部 防災課長)
(高田河川国道事務所 副所長)
(立山砂防事務所 副所長)
(企画部 企画課長補佐)
(阿賀川河川事務所 副所長)
(新潟国道事務所 副所長)
(新潟国道事務所 副所長)
(入札契約監査官)
(総合政策局 政策課 総務係長)
(文部科学省

河川部 河川調査官
河川部 地域河川調整官
河川部 河川情報管理官
河川部 広域水管理官
河川部 水政課長
河川部 地域河川課長
河川部 河川工事課長
河川部 河川管理課長
河川部 水災害予報センター長
道路部 地域道路調整官
道路部 道路情報管理官
道路部 道路保全企画官
道路部 道路計画課長
道路部 地域道路課長
道路部 道路工事課長
道路部 道路管理課長
営繕部 官庁施設管理官
営繕部 官庁施設防災対策官
営繕部 計画課長

安井 辰弥
関 敏文
渡部 修
二木 涉
長橋 洋
南雲 克彦
大熊 義史
斎藤 充
長谷川賢市
向田 満
川岸 弘昌
館 敏幸
御器谷昭央
堀 尚紀
吉田 英治
杉 浩行
奥山 祐治
木村 己与
櫻木 邦浩

大臣官房 文教施設企画部 施設企画課
環境施設企画係長)
(阿賀川河川事務所長)
(河川部 水災害予報センター長)
(大町ダム管理所長)
(河川部 地域河川課長)
(水管理・国土保全局 総務課 総務係長)
(阿賀野川河川事務所 副所長)
(信濃川下流河川事務所 副所長)
(富山河川国道事務所 副所長)
(千曲川河川事務所 副所長)
(道路部 地域道路課長)
(長岡国道事務所長)
(道路部 地域道路調整官)
(十日町市 建設部 技監)
(富山河川国道事務所 副所長)
(道路部 道路管理課長)
(金沢河川国道事務所 副所長)
(関東地方整備局 営繕部 計画課長補佐)
(信濃川下流河川事務所 事業対策官)
(大臣官房
官庁営繕部 整備課 施設評価室 課長補佐)

営繕部 技術・評価課長	杉田 篤司	(最高裁判所 事務総局 経理局 営繕課 営繕専門職)
営繕部 保全指導・監督室長	亀谷 弘智	(北海道開発局 営繕部 保全指導・監督室 営繕監督官)
金沢河川国道事務所		
副所長(事務)	富樫 博人	(総務部 建設専門官)
副所長(道路)	澤山 雅則	(企画部 技術管理課長補佐)
事業対策官	川尻 克己	(道路部 道路工事課長補佐)
総括地域防災調整官	古山 利也	(河川部 河川保全専門官)
総括保全対策官	山下 忠男	(富山河川国道事務所 工務第二課長)
地域防災調整官	佐々木 洋一	(利賀ダム工事事務所 調査設計課 専門官)
保全対策官	辻森 伸幸	(立山砂防事務所 保全対策官)
保全対策官	中西 濟	(富山河川国道事務所 保全対策官)
建設専門官	種畑 友幸	(東北地方整備局 仙台河川国道事務所 用地官)
建設専門官	二木 与裕	(富山河川国道事務所 高岡国道維持出張所長)
用地第一課長	北村 豊	(長岡国道事務所 用地第一課長)
工務第一課長	西出 保	(千曲川河川事務所 調査課長)
調査第一課長	浮田 博文	(河川部 水災害対策専門官)
流域対策課長	中山 兼一	(神通川水系砂防事務所 工務課長)
河川管理課長	谷川 健一	(黒部河川事務所 工務課長)
道路管理第一課長	勘田 誠一	(富山河川国道事務所 道路管理第一課長)
小松出張所長	栗本 拓也	(富山河川国道事務所 建設監督官)
白峰砂防出張所長	稲垣 裕之	(富山河川国道事務所 高岡出張所長)
松任海岸出張所長	青木 一典	(富山河川国道事務所 調査第一課 専門官)
能登国道維持出張所長	林山 俊矢	(黒部河川事務所 黒部川出張所長)
金沢営繕事務所		
事務所長	中西 健	(中部地方整備局 営繕部 官庁施設防災対策官)
総務課長	黒岩 哲晴	(松本砂防事務所 用地課長)
技術課長	坂田 勉	(営繕部 保全指導・監督室 保全指導・監督官)
金沢港湾・空港整備事務所		
事務所長	畠田 繁実	(内閣府 沖縄振興局 参事官(振興第三担当)付 専門官)
副所長	阿部 秀一	(敦賀港湾事務所 副所長)
前任建設管理官	森内 政弘	(港湾空港部 海洋環境・技術課 海洋環境係長)
総務課長	勝尾 彰宣	(総務部 人事課長補佐)
工務課長	寺田 篤史	(港湾空港部 港湾物流企画室 課長補佐)
保全課長	坂上 正樹	(港湾空港部 港湾事業企画課 技術審査係長)
農林水産省		
北陸農政局		
手取川流域農業水利事業所 所長	山本 昌也	(北陸農政局設計課課長補佐(土木技術))
石川県		
農林水産部		
部長級		
農林水産部長	表 正人	(参事兼土木部次長)
参事(農林担当)	遠藤 知庸	(農林水産省農村振興局総務課調査官)
次長級		
農林水産部次長(農業土木担当)	西川 透	(農林水産部里山振興室長)
南加賀農林総合事務所長	山崎 浩一	(農林水産部森林管理課長)

石川農林総合事務所長	美作多加志	(中能登農林総合事務所長)
中能登農林総合事務所長	前川 久義	(農林水産部農業基盤課長)
奥能登農林総合事務所長	橋本 尚	(農林総合研究センター農業試験場副場長)
課長級		
農林水産部農業政策課技術管理室長	北出 一郎	(農林水産部農業基盤課担当課長(里山振興担当))
農林水産部農業基盤課長	古西 広	(農林水産部農業基盤課担当課長(事業管理担当))
農林水産部農業基盤課担当課長(里山振興担当)	山本 敏弘	(農林水産部農業政策課担当課長(農林業公社担当))
担当課長級		
農林水産部農業基盤課担当課長(事業管理担当)	松村 武志	(農林水産部農業基盤課参事(企画調整GL))
南加賀農林総合事務所土地改良部長	川崎 義郎	(石川農林総合事務所土地改良部長)
石川農林総合事務所土地改良部長	鶴見 正樹	(県央農林総合事務所土地改良部長)
県央農林総合事務所土地改良部長	白池 秀紀	(奥能登農林総合事務所土地改良部長)
中能登農林総合事務所土地改良部長	三浦 正幸	(南加賀農林総合事務所土地改良部長)
奥能登農林総合事務所土地改良部長	石垣 広男	(中能登農林総合事務所土地改良部長)
土木部		
部長級		
土木部長・再任用・更新兼送水管耐震化推進室長	山岸 勇	(技監・土木担当・再任用)
技監・土木担当	松田洋一郎	(参事・プロジェクト担当)
参事・プロジェクト・港湾機能強化担当兼参事・港湾活用推進担当	板屋 英治	(国土交通省大臣官房付・ 河川情報研究所研究第一部主任研究員)
参事・建築・営繕担当・再任用・更新兼県民文化スポーツ部新図書館整備推進室次長	畝本 秀一	(参事・建築・営繕担当・再任用)
南加賀土木総合事務所併任送水管耐震化推進室次長	鈴木 穰	(土木部次長兼河川課長 兼危機管理監室危機対策課担当課長)
石川県土木総合事務所併任送水管耐震化推進室次長	飯田 晋	(土木部道路整備課長 兼危機管理監室危機対策課担当課長)
県央土木総合事務所次長・昇任	松本 修	(県央土木総合事務所次長)
県央土木総合事務所次長	森 裕人	(環境部次長・水道用水・送水管耐震化推進担当 兼環境部送水管耐震化推進室次長)
中能登土木総合事務所併任送水管耐震化推進室次長	大森 義弘	(土木部砂防課長 兼危機管理監室危機対策課担当課長)
次長級		
土木部次長兼土木部企画調整室長兼危機管理監室次長	中野 俊一	(総務部次長兼人事課長)
土木部次長兼道路建設課長併任送水管耐震化推進室課長	畠山 邦夫	(土木部道路建設課長 併任環境部送水管耐震化推進室課長)
土木部次長兼港湾課長兼商工労働部港湾活用推進室次長	蟹田 学	(土木部港湾課長 兼商工労働部港湾活用推進室次長)
土木部次長兼公園緑地課長	猿田 秀一	(土木部公園緑地課長)
土木部次長兼営繕課長兼危機管理監室危機対策課担当課長兼健康福祉部県立中央病院建設推進室課長 兼商工労働部港湾活用推進室次長	竹内 正人	(土木部建築住宅課長)

- 土木部参与・公園担当・再任用・更新
丸山 隆史 (土木部参与・公園担当・再任用)
- 課長級
土木部監理課長 藤村 一志 (観光戦略推進部国際交流課長)
土木部監理課技術管理室長 浅田 耕司 (環境部水環境創造課長
兼温暖化・里山対策室次長
兼農林水産部里山振興室次長)
- 土木部道路整備課長兼危機管理監室危機対策課担当課長
鈴見 裕司 (土木部道路整備課担当課長)
- 土木部河川課長兼危機管理監室危機対策課担当課長
平田 浩一 (土木部監理課技術管理室長)
- 土木部砂防課長兼危機管理監室危機対策課担当課長
藤本 康司 (農林水産部水産課漁港漁村整備室長)
- 土木部都市計画課生活排水対策室長兼生活環境部温暖化・里山対策室次長
塚本 修一 (県央土木総合事務所次長
併任環境部送水管耐震化推進室課長)
- 土木部都市計画課生活排水対策室次長兼生活環境部環境政策課担当課長
浅井 豊弘 (安原・高橋川工事事務所長)
- 土木部都市計画課担当課長・まちづくり技術センター担当
山田 信之 (危機管理監室危機対策課担当課長・
原子力防災担当)
- 土木部都市計画課担当課長・下水道公社理事長
塩谷 建一 (金沢港湾事務所長)
- 土木部建築住宅課長 熊田 康也 (土木部営繕課担当課長・営繕企画担当
兼企画振興部企画課担当課長
兼監理課担当課長)
- 土木部水道企業課長兼送水管耐震化推進室課長
竹田 博司 (環境部水道企業課長兼送水管耐震化推進室課長)
- 中能登土木総合事務所羽咋土木事務所長
田村 功司 (土木部監理課担当課長)
- 奥能登土木総合事務所珠洲土木事務所長
吉本 一也 (奥能登土木総合事務所次長)
- 金沢港湾事務所長 宅美 克基 (土木部港湾課担当課長
兼商工労働部産業立地課担当課長)
- 七尾港湾事務所長 田島 義久 (七尾産業技術専門校長)

総合資格学院は石川県建設業協会と企業提携している
建設系資格スクールです。

会員の皆さまは、当学院の対象講座を**特別価格**で受講することができます！

平成29年度

1級・2級建築施工管理講座
1級・2級土木施工管理講座 **開講!**

➔ 受講料・開講日やご質問など下記「金沢校」までお問い合わせください！

願書

取り寄せサービス実施中

- ・2級建築施工管理技士
- ・1級土木施工管理技士
- ・2級土木施工管理技士

日本で最も多くの1級建築士を輩出し続けている学校です。

*平成24～28年度(過去5年累計)1級建築士設計製図試験 合格者合計19,562名中、当学院受講生10,636名、全国合格者占有率54.4%。平成28年度1級建築士設計製図試験 全国合格者3,673名中、当学院現役受講生1,957名、全国合格者占有率53.3%。



総合資格学院

学院長
岸 隆司



金沢校

TEL.076-237-6811

金沢市鞍月5-181 AUBEビル 2F

スクールサイト

www.shikaku.co.jp

総合資格

検索

コーポレートサイト

www.sogoshikaku.co.jp

Facebook [総合資格 fb]で検索!

通達関係

No.	標題、発出機関・発出番号・発出年月日、アドレス
1	<p>営繕工事における入札時積算数量書活用方式の実施について 大臣官房地方課長、大臣官房官庁営繕部管理課長、大臣官房官庁営繕部計画課長、北海道局予算課長【国地契第80号、国営管第432号、国営積第23号、国北予第36号・平成29年3月14日】 http://hyokenkyo.or.jp/files/9714/8974/0668/49976ab935f5046ce8540db4849a95ee.pdf</p>
2	<p>公共工事における社会保険等未加入対策について 国土交通省土地・建設産業局建設業課長【事務連絡・平成29年2月28日】 「発注者と建設業所管部局が連携した建設業者の社会保険等未加入対策について」の一部改正について 国土交通省大臣官房地方課長他同省10課【国地契第73号・平成29年2月24日】 http://www.jtia.org/data_files/view/450/mode:inline</p>
3	<p>いわゆるゼロ国債工事等に係る金融保証による借入金に係る経営事項審査の事務取扱について 国土交通省土地・建設産業局建設業課長【国土建第434号・平成29年3月2日】 http://hyokenkyo.or.jp/files/7614/8894/0273/c4a47ed26ea777739e40373616cddb303.pdf 石川土木部監理課長【監第2405号・平成29年3月8日】 なお上記については、下記協会ホームページに掲載しています。 http://www.ishikenkyo.or.jp/</p>
4	<p>建設工事受注動態統計調査（平成29年度調査）への協力依頼について 国土交通省総合政策局情報政策本部長【国総情建第256号・平成29年3月22日】 https://drive.google.com/file/d/0BxhTtPbC1IDkRFhraFhELTNQUU0/view</p>
5	<p>建設工事従事者の安全及び健康の確保の推進に関する法律の施行について 厚生労働省労働基準局長、国土交通省土地・建設産業局長【基発0316第1号、国土専建第37号・平成29年3月16日】 https://drive.google.com/file/d/0BxhTtPbC1IDkZHV4NVdpV2FMa2c/view</p>
6	<p>融雪出水期における防災態勢の強化について 中央防災会議会長（内閣総理大臣）【中防災第1号・平成29年3月8日】 通達の宛名は全建ではありませんが文章内容は同一です。 http://www.hyotokyo.or.jp/news/wp-content/uploads/2017/03/20170317115507261.pdf</p>
7	<p>建設業における職長等及び安全衛生責任者の能力向上教育に準じた教育について 厚生労働省労働基準局長【基発0220第4号・平成29年2月20日】 http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T170222K0010.pdf</p>
8	<p>公正な採用選考の実施について 厚生労働省職業安定局長【平成29年2月22日】 石川労働局長【石労発0307号第1号・平成29年3月7日】 発出者愛知県建設業協会を省略し内容を確認ください。 http://www.testarea-mizutani.jp/aiken/aiken-member/document/pdf/0255.pdf</p>
9	<p>特定化学物質障害予防規則の一部を改正する省令の施行について 厚生労働省労働基準局長【基発0306第5号・平成29年3月6日】 http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei54/dl/05.pdf</p>
10	<p>山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドラインに関する問答について 厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室長【事務連絡・平成29年3月6日】 http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T170308K0020.pdf</p>
11	<p>「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」の実施について 厚生労働省労働基準局安全衛生部長【基安発0310第5号・平成29年3月10日】 http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000156477.html</p>
12	<p>平成29年度の建設業における安全衛生対策の推進に係る協力要請について 厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課長、同労働衛生課長、同化学物質対策課長【基安安発0313第3号、基安労発0313第4号、基安化発0313第4号・平成29年3月13日】 http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T170323K0020.pdf</p>
13	<p>ロープ高所作業に係る安全対策の更なる推進について（要請） 厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課長【基安安発0313第2号・平成29年3月13日】 通達の宛名は全建ではありませんが文章内容は同一です http://tokyohokuwakai.com/wp-content/uploads/2017/03/9fe53c0b23c247b3820b6463f1840102.pdf</p>
14	<p>陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策の推進について ～荷役5大災害防止対策の徹底～ 厚生労働省労働基準局安全衛生部長【基安発0316第2号・平成29年3月16日】 パンフレット及びチェックリストについてはつぎのとおり。 http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000139559.html</p>

No.	標題、発出機関・発出番号・発出年月日、アドレス
15	<p>「シールドトンネル工事に係る安全対策ガイドライン」の策定について 厚生労働省労働基準局長【基発0321第5号・平成29年3月21日】 http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000155868.html</p>
16	<p>除染特別地域内における除染等工事に係る設計労務単価等の改訂に伴う技能労働者の適切な賃金水準の確保について 環境省水・大気環境局長【環水大総発1703134号・平成29年3月13日】 http://hyokenkyo.or.jp/files/8514/9026/0417/9945357851513048fe9a5f039cd45fa8.pdf</p>
17	<p>障害者雇用促進法に基づく障害者差別禁止・合理的配慮に関する合理的配慮指針事例集【第三版】の策定について 石川労働局職業安定部長【石労安発0307第1号・平成29年3月7日】 http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11600000-Shokugyouanteikyoku/0000093954.pdf</p>
18	<p>近接工事における諸経費調整の廃止について 石川県農林水産部長【農政第3593号・平成29年3月5日】 石川県土木部長【監第2379号・平成29年3月27日】 適用基準日 平成29年4月1日以降に支出負担行為を行う工事より適用</p>
19	<p>「石川県建設工事標準請負契約約款」及び「業務委託契約約款」の一部改正について（通知） 石川県土木部長【監第2461号・平成29年3月24日】 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kanri/yakkankaisei.html</p>
20	<p>石川県土木工事発注工事における土工でのICT施工の推進について 石川県土木部長【監第2378号・平成29年3月27日】 1. 適用運用開始 - 平成29年4月1日以降の支出負担工事に係る工事から適用 2. 実施方針 - 「ICT施工実施要領」に基づき実施 3. 留意事項 - 当面の間、対象とする工事については、事業担当課並びに技術管理室と協議の上、決定します。</p>
21	<p>石川県建設工事総合評価方式試行運用基準の一部改正について（通知） 石川県土木部長【監第2400号・平成29年3月27日】 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/gijyutsu/sougouhyouka22_9.html</p>
22	<p>石川県土木工事共通仕様書及び土木工事施工管理基準の一部改訂について 石川県農林水産部長、石川県土木部長【農政第3490号、監第2401号・平成29年3月27日】 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/gijyutsu/kijyun.html</p>
23	<p>土木部発注工事に係る土木工事積算基準等の改定について 石川県土木部長【監第2555号・平成29年3月30日】 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/gijyutsu/documents/h2904kansetsuhi.pdf</p>
24	<p>建設工事に係る最低制限価格の算定方法の改正について（通知） 石川県土木部長【監第2516・平成29年3月28日】 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kanri/documents/hp_const_limit.pdf 建設工事に係る業務委託における最低制限価格の算定方法の改正について（通知） 石川県土木部長【監第2515・平成29年3月28日】 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kanri/documents/hp_consult_limit.pdf</p>
25	<p>社会保険の加入に関する下請指導ガイドラインの再周知について （一社）全国建設業協会 労働委員会委員長【全建労発第97号・平成29年3月21日】 http://www.a-kenkyo.or.jp/news/h28/290322_shakaihoken_mikanyu2.pdf</p>
26	<p>平成29年度 国土交通省土木工事・業務の積算基準等の改定及び低入札価格調査基準の運用の見直しについて （一社）全国建設業協会【事務連絡・平成29年3月23日】 土木工事・業務の積算基準等の改定 http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000396.html 低入札価格調査基準の運用の見直し http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000397.html</p>
27	<p>季刊誌『建設業の経理』及び「オーダーメイド型セミナー」について（周知のご依頼） （一財）建設産業経理研究機構 代表理事【平成29年3月14日】 http://www.kyokenkyo.or.jp/topics/20170321/20170321_1.pdf</p>
28	<p>平成28年度ゼロ国債工事等に係る保証事業会社の公共工事金融保証事業について （一社）全国建設業協会 会長【全建総発第128号・平成29年3月10日】 http://hyokenkyo.or.jp/files/4814/8913/5221/28.pdf</p>

本表の業界時報は、協会員の方々には毎月 URL リストでメール配信を行っています。

労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（平成29年分）（前月状況一部修正しました。）

平成29年2月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	1	1	1	3	3	76
小松監督署		(1) 2		(1) 2	1	20
七尾監督署		1	1	2	3	17
穴水監督署	1			1	1	6
計	2	(1) 4	1	(1) 8	8	119
前年同期	3	(1) 5		(1) 8	8	109

（ ）内は木建工事 内は死亡者数

平成28年度 建設工事受注高調（元請）

民 間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	28年度	27年度	%	28年度	27年度	%	28年度	27年度	%
12月分	404	128	315.6%	2,797	1,449	193.0%	3,201	1,577	203.0%
1月分	364	233	156.2%	1,145	617	185.6%	1,509	850	177.5%
2月分	385	224	171.9%	941	3,532	26.6%	1,326	3,756	35.3%
年度累計	4,612	2,947	156.5%	21,470	26,900	79.8%	26,082	29,847	87.4%
26年度累計		3,689	125.0%		20,176	106.4%		23,865	109.3%
25年度累計		1,893	243.6%		19,163	112.0%		21,056	123.9%

官 公 庁

	土 木			建 築			計		
	28年度	27年度	%	28年度	27年度	%	28年度	27年度	%
12月分	2,577	2,141	120.4%	414	299	138.5%	2,991	2,440	122.6%
1月分	3,325	1,972	168.6%	191	250	76.4%	3,516	2,222	158.2%
2月分	5,485	2,085	263.1%	591	562	105.2%	6,076	2,647	229.5%
年度累計	46,734	36,994	126.3%	11,551	13,518	85.4%	58,285	50,512	115.4%
26年度累計		43,723	106.9%		18,432	62.7%		62,155	93.8%
25年度累計		49,174	95.0%		12,120	95.3%		61,294	95.1%

合 計（民間+官公庁）

	28年度	27年度	%
12月分	6,192	4,017	154.1%
1月分	5,025	3,072	163.6%
2月分	7,402	6,403	115.6%

	28年度	27年度	%
年度累計	84,367	80,359	105.0%
26年度累計		86,020	98.1%
25年度累計		82,350	102.4%

■■■ 国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催 ■■■

平成28年度

「私たちの主張 ~ 未来を創造する建設業 ~」応募作

「現場監督というしごと」

株式会社 豊蔵組 巻 智大

子供の頃の私は、母の手を引き、近所のマンション建設現場を毎日のように見に行っていました。今思うと、そのころから漠然と建設業に対して憧れを持っていたのかもしれませんが。

そして私は高等専門学校を卒業し、建設業の世界に足を踏み入れました。現在は4年目になります。しかしながら学生当時は現場の施工管理、いわゆる現場監督という仕事がこういったものなのか全く知らずにいました。その当時は、子供の頃の気持ちも薄れ、ただなんとなく学校にある求人に応募し、就職先が決まるという甘い考えでの就職活動でした。

そんな気持ちで入社した私は、会社での研修を終え、現場に配属されました。私の初めての現場は、RC造の地下2階の駐車場の建設でした。もちろん右も左もわからない私は、職人さんの後ろについていく毎日でした。社会人になる前は、現場の職人さん=怖い。というイメージでしたが、どの職人さんもあたたかく優しい方ばかりでした。日々現場が進んでいく楽しさも感じ始め、自分の中では順調に仕事に慣れていると思っていました。

現場に配属され1か月ほどが過ぎたある日、私はある事を現場所長に質問に行きました。返ってきた言葉は質問の回答ではなく、「お前、考えて仕事をしろ。」という言葉でした。たった一言ですが、私の学生時代の甘い考えを見透かしたようなその言葉は今でも強く心に残っています。

それから、私は自分なりに考えて仕事をするよ

うになりました。今までのようにただ職人さんについていくのではなく、自分で考えて段取りなどをするようになりました。その時初めて現場監督という仕事がわかったような気がします。自分の段取り・調整一つで、現場の工事が効率よく進んだり、遅れたりします。効率よく進めばうれしさもありますし建物が完成したときは何とも言えない気持ちになりますが、段取りが悪く職人さんの手を止めてしまえば職人さんに強く怒られたりもします。その分、余計なお金もかかる場合もあります。そして自分の考えを通すだけではなく、相手の意見も尊重しそれをうまく調整しなければなりません。そういった喜びや苦労は、「自分で考える」ことで初めて実感できるものだと思っています。

私にも後輩ができ、仕事での指示をすることが増えました。私は後輩に、あの時の現場所長と同じことを言っています。たしかに、指示されたことを淡々とこなしていれば楽だと思います。ですが、一つの指示に対して自分なりに考えて行動する、工夫をするだけで、仕事の密度も、自分の経験値も増えると思います。

建設業はその考える力がすごく必要な職業だと思います。完成を迎えた建物は、すごく自分の誇りになるし、ほかの職業では味わえない達成感があります。これから建設業をめざす人には、自分が現場を動かしていくという強い気持ちをもってほしいです。

会員消息

今回届け出があったのは次の1件でした。

退会

会社名	代表者名	所在地	年月日
(株)越後建設	越後 憲明	羽咋郡宝達志水町今浜ヲ53番地	平成29年3月21日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

平成29年4月行事予定

- 4月 3日(月) 正副会長会議
山岸土木部長来館
常任理事会
- 6日(木) 春の全国交通安全運動(～14日)
- 10日(月) 新入社員研修(開講式)
石川県土木施工管理技士会 正副会長会議
- 11日(火) 新入社員研修 自衛隊生活体験(～13日)
(金沢駐屯地)
- 19日(水) 会報編集委員会
総務企画委員会
- 20日(木) 暴力監視員研修会 (石川県警察本部)
- 21日(金) 広報・研修委員会 企画部会
- 24日(月) 東日本建設業保証 取締役会
(東京 浜離宮建設プラザ)
土木委員会役員会
- 25日(火) 「無人航空機(UAV)の活用について」の講習会
- 26日(水) 全建 理事会 (東京 東京建設会館)
- 28日(金) 事務局打合せ

平成29年5月以降の行事予定

- 5月 2日(火) 正副会長会議
- 8日(月) 協会 監事会
組合 監事会
- 17日(水) 建災防 理事会
組合 理事会
協会 理事会
- 18日(木) 三県協会専務・事務局長会議 (福井)
- 19日(金) 全建協連 第42回通常総会
(東京 東海大学校友会館)
- 23日(火) ICT活用工事講習会 (7階 ホール)
- 25日(木) 東日本建設業保証 取締役会
(東京 浜離宮建設プラザ)
- 26日(金) 土木委員会全体会議(第1回)予定
(金沢市内(ホテル))
- 29日(月) 建災防 総会
組合 総会
協会 総会
- 30日(火) 全国技士会連合会総会・表彰式
(東京 アルカディア市ヶ谷)
全建 理事会・総会 (東京 経団連会館)

- 6月 5日(月) 正副会長会議
常任理事会
- 10日(土) 全国「みどりの愛護」のつどい
(本多の森ホール)
- 22日(木) 東日本建設業保証 株主総会・取締役会
(東京 浜離宮建設プラザ)
- 23日(金) 全建 理事会 (東京 東京建設会館)
建退共 運営委員会
- 26日(月) 全国建産連 総会
- 27日(火) 全建協連 専務理事・事務局長会議
(東京 東海大学校友会館)
- 7月 5日(水) 21世紀住まいづくり協議会 総会
(石川県地場産業振興センター)
- 19日(水) 北陸地方整備局との意見交換会(前期) 予定
- 20日(木) 全建 社会貢献活動月間中央行事
(東京 経団連会館)
- 8月22日(火) 全国建産連 総務企画委員会
(東京 建設業振興基金)
- 9月21日(木) 全建 理事会・協議委員会
(東京 東京プリンスホテル)
- 27日(水) 全国建産連 全国会長会議 (京都府)
- 28日(木) 東日本建設業保証 取締役会
(東京 浜離宮建設プラザ)
- 10月17日(火) 北陸地域懇談会 (富山第一ホテル)
- 11月24日(金) 全建 理事会・会長会議 (東京 経団連会館)
- 12月14日(木) 全建 理事会・地域懇談会意見交換会等
(東京 経団連会館)

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- 協会報の発行 毎月1日発行
(毎月10日前後納入、会員送付)
- 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝(図書券)贈呈

(注) お問い合わせは、
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当
TEL 076-242-1161(代)内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 4月 4日(火) 青：技術防災S
 10日(月) 青：技術防災S
 まちなか協働パトロール出発式
 12日(水) 青：情報発信S
 13日(木) 土：役員会
 14日(金) 青：情報発信S
 24日(月) 第1回中堅・若手(技術)社員研修会
 26日(水) 常任理事会
 理事会
 28日(金) 青：幹事会

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 4月13日(木) 協会・組合 会計監査
 19日(水) 4月 理事会
 下旬 土木委員会
 加賀市担当課長との意見交換会

《お知らせ》

- 5月10日(水) 協会・組合 定時総会
 24日(水) 献血奉仕活動

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 4月 5日(水) 建青会役員会
 25日(火) 理事会

(一社)白山・石川建設業協会

《行事予定》

- 4月13日(木) 監理技術者講習会
 18日(火) 監査会
 20日(木) 総務委員会
 26日(水) 理事会

《お知らせ》

- 5月12日(金) 定時総会

河北郡市土建協同組合

《行事予定》

- 4月 7日(金) 新年度官庁挨拶回り
 26日(水) 平成28年度事業会計報告

(一社)羽咋郡市建設業協会

《行事予定》

- 4月 6日(木) 監理技術者講習会
 26日(水) 監事会
 27日(木) 理事会

《お知らせ》

- 5月26日(金) 定時総会

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 4月 6日(木) 監理技術者講習会
 7日(金) 新年度挨拶回り

《お知らせ》

- 5月10日(水) 監事会
 11日(木) 理事会
 19日(金) 通常総会

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 4月 7日(金) 能登産業技術専門校入校式
 20日(木) 監事会
 27日(木) 正・副会長会議・理事会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 4月 7日(金) 石川県立能登産業技術専門校入校式
 19日(水) 28年度 会計監査
 26日(水) 理事会

関係機関からのお知らせ

平成29年4月・5月・6月個別専門相談室開設のご案内

石川県中小企業団体中央会

本会では、組合等が抱えている税務・登記等の諸問題を解決すべく、専門家による個別専門相談室を開設しております。4~6月下旬の通り開設しますのでテーマを選びお気軽にご相談ください。

開設日	時間	内容	専門相談員
4月24日(月)	10:00~12:00	税務・会計相談	北村労務会計事務所 税理士荒谷幸祐 氏
	13:00~15:00	法律相談	弁護士法人まこと共同法律事務所 弁護士久保雅史 氏
5月19日(金) 6月21日(水)	10:00~12:00	税務・会計相談	北村労務会計事務所 税理士荒谷幸祐 氏
	13:00~15:00	法律相談	弁護士法人まこと共同法律事務所 弁護士久保雅史 氏
	15:00~17:00	登記相談	久保均司法書士事務所 司法書士久保均 氏

開催場所 金沢市鞍月2丁目20番地 石川県地場産業センター新館5階
 石川県中小企業団体中央会 会議室

相談は予約制(1回30分)のため、希望者は事前に本会へ電話にてお申し込みください。

申込先 TEL 076 267 7711 FAX 076 267 7720

平成29年度 土木施工管理技術検定試験

	試験日	申込受付期間	試験地
1級(学科)	7月2日(日)	3月31日(金)~4月14日(金)	東京・新潟・名古屋・大阪
1級(実地)	10月1日(日)		
2級 (学科・実地) (第1回学科)	10月22日(日)	4月14日(金)~4月28日(金)	【種別：土木】 東京・新潟・富山・名古屋・大阪 【種別：鋼構造物塗装・薬液注入】 東京・大阪
2級 (第2回学科)	平成30年 2月25日(日)	12月5日(火)~平成30年1月10日(水)	【種別：土木】 東京・新潟・名古屋・大阪

平成29年度 管工事施工管理技術検定試験

	試験日	申込受付期間	試験地
1級(学科)	9月3日(日)	5月8日(月)~5月22日(月)	東京・新潟・名古屋・大阪
1級(実地)	12月3日(日)		
2級 (学科・実地)	11月19日(日)		東京・新潟・金沢・名古屋・大阪

平成29年度 造園施工管理技術検定試験

	試験日	申込受付期間	試験地
1級(学科)	9月3日(日)	5月15日(月)~5月29日(月)	東京・新潟・名古屋・大阪
1級(実地)	12月3日(日)		
2級 (学科・実地)	11月19日(日)		東京・新潟・金沢・名古屋・大阪

申込用紙の種類

1級 2種類 【学科・実地試験】【実地試験のみ】

2級 3種類 【学科・実地試験】【学科試験のみ】【実地試験のみ】

購入の際には、お間違いのないようご注意ください。

申込用紙(購入方法)について

一般社団法人 北陸地域づくり協会 TEL 025 381 1301

〒950 0197 新潟県新潟市江南区亀田工業団地2 3 4

<http://www2.hokurikutei.or.jp/>

新潟支所 新潟県新潟市中央区美咲町1 9 36 TEL 025 281 6151

富山支所 富山県富山市中市1 5 26 TEL 076 423 8561

金沢支所 石川県金沢市藤江南1 110 TEL 076 234 1701

試験に関する詳細は次の当センターホームページでご確認ください。 <http://www.jctc.jp/>

国土交通大臣指定試験機関

一般財団法人 全国建設研修センター